

## 令和4年度 生徒による授業評価結果まとめ

授業評価については、今後の授業改善に役立てることを目的に、前期（7月）、後期（1月）に全校生徒を対象にすべての授業に対して評価を実施した。

### 1 授業評価について

自己評価も含め、以下の3つの質問について5段階で評価

#### (1) 質問事項

質問1 自分は授業に集中して先生の話聞き、学習に取り組んでいますか？

質問2 授業の進捗や難易度は、自分にとって適切ですか？

質問3 先生は興味・関心を高め、わかりやすい授業をしていますか？

#### (2) 評価規準

①大いにそう思う ②だいたいそう思う ③ふつう ④あまりそう思わない

⑤まったくそう思わない

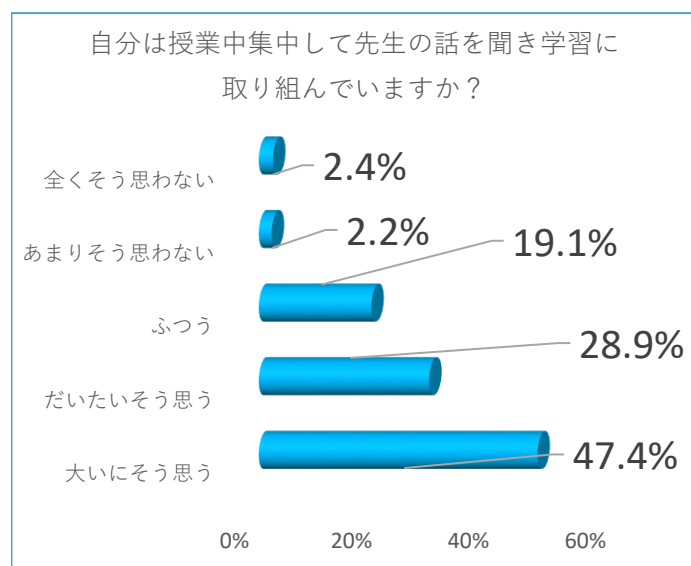
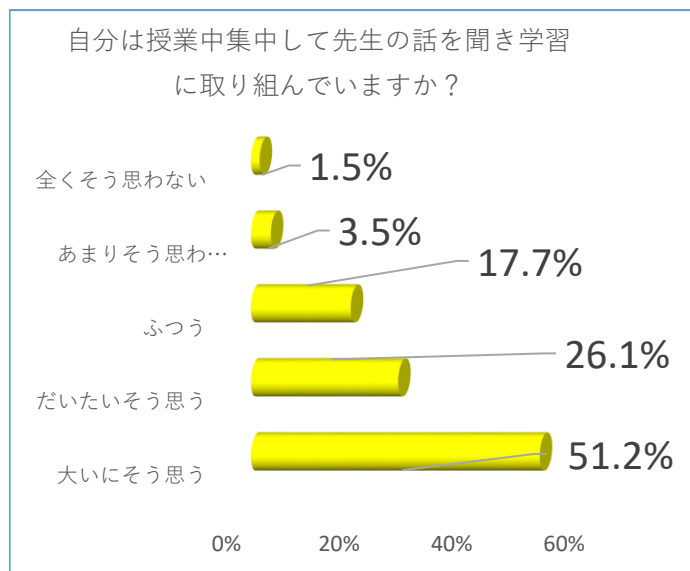
### 2 評価結果について

(1) 質問1の「生徒自身の授業態度」については「ふつう」以上と回答したのは前期95%、

後期95.4%、改善が必要と回答した生徒は前期5%、後期4.6%だった。

前期

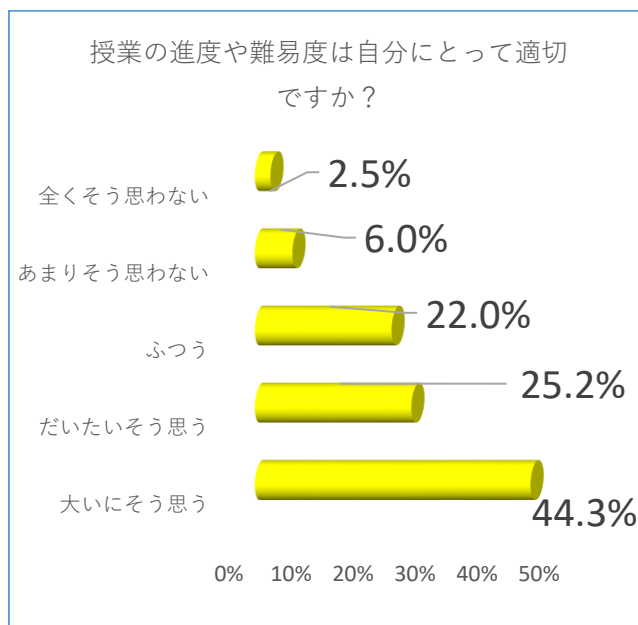
後期



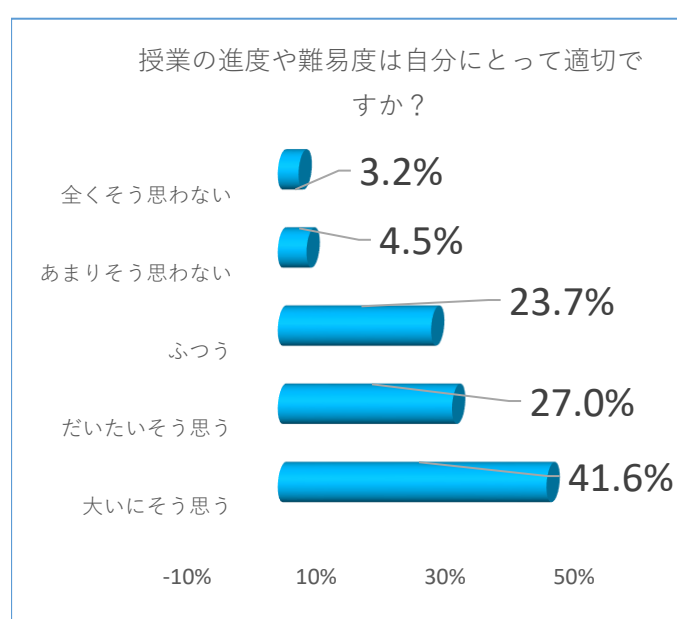
(2) 質問2の「授業の進捗や難易度」については、「ふつう」以上と回答したのは前期91.5%

後期92.3%、改善が必要と回答した生徒は前期8.5%、後期7.7%だった。

## 前期

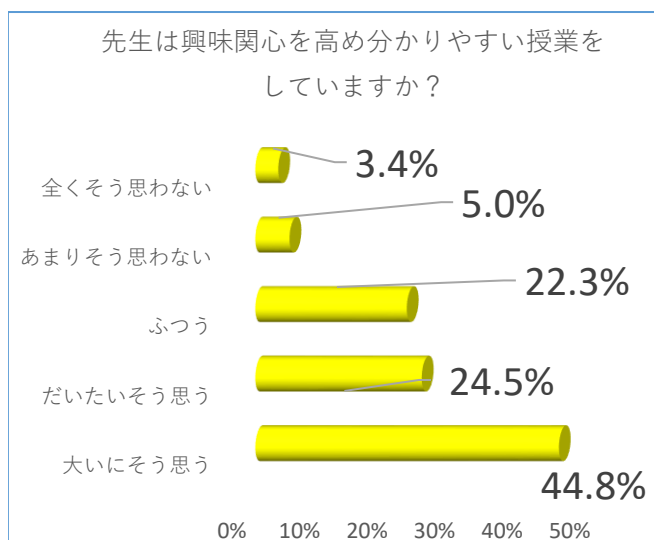


## 後期

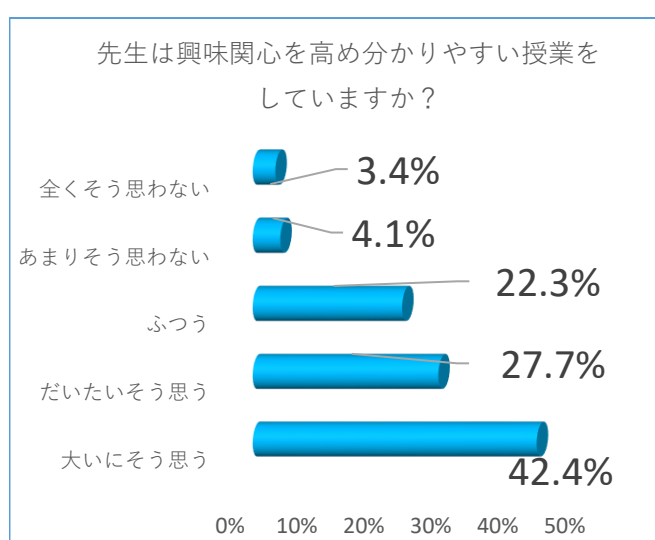


(3)質問3の「わかりやすい授業か」については「ふつう」以上と回答したのは前期91.6%、後期92.4%、改善が必要と回答した生徒は前期8.4%、後期7.5%だった。

## 前期



## 後期



### 3 今後について

後期は前期と比較してすべての問いに対して若干の上昇がみられた。本年度より1年生はBYODとして、2、3年生は県から貸与されたタブレット端末を利用した授業を行うこととなった。2、3年生は専門教科科目でCloudを活用したデータ交換やレポートの提出等で活用しているが、1年生からもっと活用してほしいという意見がみられた。今後普通教科でどのように活用していくかが課題となると考える。ただ、紙と鉛筆を活用し、繰り返し学習するスタイルも重要ではあるので、どのように併用して行くか考えることも重要である。